資料④

# 第４次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画
# 実施目標計画の評価について

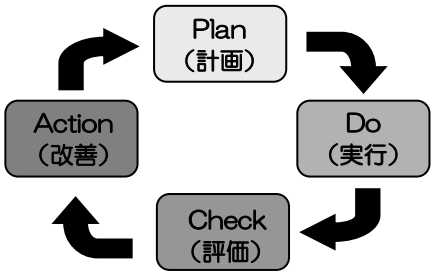
## 1　評価の目的

実施目標計画の評価は、次の３つを目的とする。

（１）PDCA サイクルによる改善と見直し

実施目標計画に係る取り組み結果を客観的に評価いただき、その結果を次年度の取り組みに反映させることにより、計画の推進を図る。

※ **PDCA サイクル**
計画（Plan）を立て、実行（Do）し、評価（Check）して、改善（Action）に結び付け、次の計画（Plan）に反映させていくマネジメントサイクル。




（２）市民へ取り組み状況の PR

取り組み結果及び評価結果を公表、市民に伝えることにより、計画の推進についての理解と協力を求める。

（３）次期計画に向けて改善点等の確認

今期計画の改善・見直し等点を随時点検、確認し、次期計画の策定に活かすことにより、市民により身近な計画を目指す。（令和１２年度次期計画策定予定。）

## 2　評価の項目

次の３つの評価項目ごとの評価を基に総合評価を行う。

（１）取り組み状況
- 目標達成に向けて取り組みが図られているか。

（２）目標達成度
- 目標指標が達成されているか。

（３）必要性・妥当性
- 計画の推進に寄与する取り組みであるか。
- 市民のニーズや社会情勢に対応しているか。

## 3　評価の基準

（１）各項目評価

| 評　価 | | 評価項目（視点） | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 取組状況 | 目標達成度 | 必要性･妥当性※ |
| A | ○ | よく取り組まれている。 | 計画を上回る成果があった。 | とても必要（妥当）である。 |
| B | (普通) | 取り組まれている。 | 概ね計画どおり達成した。 | 必要（妥当）である。 |
| C | | あまり取り組まれていない。 | 今一歩達成していない。 | あまり必要（妥当）ではない。 |
| D | × | 取り組んでいない（未着手）。 | 計画より大幅に達成していない。 | 必要（妥当）ではない。 |

※「必要性･妥当性」については、第５次計画策定に向けての資料とするため、中間年度である３年目のみ評価を行う。

（２）総合評価

（１）の各項目評価をＡ…5 点、Ｂ…4 点、Ｃ…2 点、D…1 点として点数化し、合計点数を下記の当該年度の総合評価とする。

【年度総合評価】

| 合計点数 | 10～９点 | ８～6 点 | 5～3 点 | 2 点 |
|---|---|---|---|---|
| 総合評価 | **A** | **B** | **C** | **D** |

※「必要性･妥当性」（3 年目のみの評価項目）については、点数化せず、また総合評価に含まない。

## 4　評価の手順

（１）計画初年度に実施目標ごとの取組計画及び５年間の目標指標を定める。

（２）毎年度末に、各課における取組の実施状況及び評価項目にかかる評価（案）を進行管理シートに記入し、提出する。

（３）事務局にて、各課の取組の実施状況を取りまとめ、総合評価（案）を作成する。

（４）各委員あてに進行管理シートを事前に送付、評価について検討する。

（５）防府市地域福祉推進協議会（会議）において協議のうえ、評価を決定する。

（６）今後の取り組み等について、協議する。

※「必要性･妥当性」については、中間年度である３年目のみ評価を行い、第５次計画策定に向けての資料とする。